貧酸素水塊速報（2022年）

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター　千葉県農林水産技術会議
○ 神奈川県水産技術センター　内湾底びき網研究会連合会
【協力】○ 千葉県環境研究センター　東京都環境局
第三管区海上保安本部　（国）国立環境研究所
○ モニタリングポスト（海上保安庁，国土交通省 関東地方整備局）
（今回の速報は"○"の機関の観測データを使用して作成しました）

令和4年8月2日観測結果

貧酸素水塊は、拡大しました。特にDO0.5 ml/L以下の無酸素状態に近い海域が広く分布し、縦断ラインでみると、躍層付近まで貧酸素化し、その規模も54%に上昇しました(図1,2,3)。注意して下さい。

表層水温は28～32℃、底層水温は17～29℃でした。

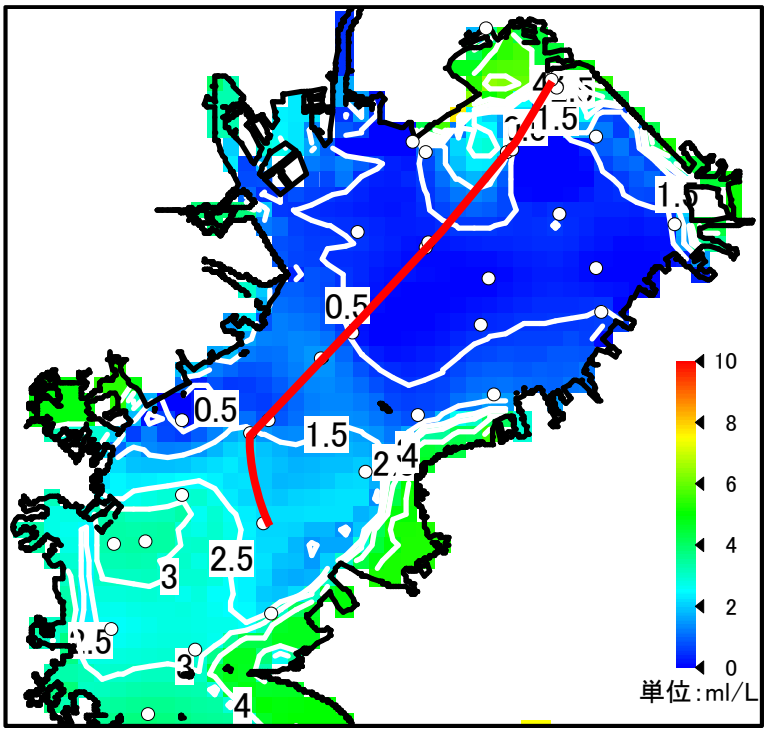

図1　底層の溶存酸素量分布（赤線は縦断ライン）

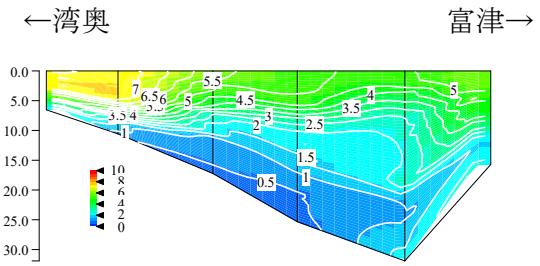

図2　縦断ラインでのDO鉛直分布

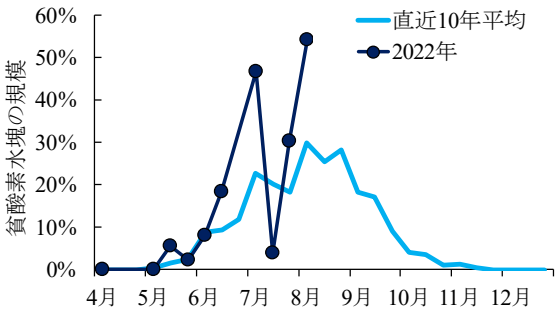

図3　貧酸素水塊の規模
（左図で貧酸素水塊（2.5ml/L以下）が占める割合）

酸素飽和度と溶存酸素量（DO）の目安

酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	